

だいじょうぶ。ともにあるこう。

(2014. 5. 12)

三鷹市議会議員

# 野村 のむら ようこ 羊子



といっしょにつくる三鷹の会 ニュース no.70

## ■東京外環道路大深度地下使用認可

### 大問題その1

☆地権者の許諾も得ずに、その土地の地下にトンネルを掘ることが可能！

3/28 国交省は大深度地下使用認可告示。地下40mより浅い大深度ではない地域では、区分地上権を設定し補償する。大深度部分の地権者には補償もなく、無権利状態。



### 大問題その2

☆外環道路都市計画線内は、国に先買権があり、事前に届出が必要！

3/28 都市計画事業の承認・認可も国交省と東京都が告示。4/21～25に全5カ所で都市計画法に基づく説明会。事業地内の有償

譲渡に制限がかかるとの説明があった。

売却前に国に届出、30日間は譲渡できない。国が買取る決定をしたら国に、国が買わない場合のみ譲渡できる。罰則付の制限。



### 大問題その3

☆家屋調査は計画線外側40mまでの希望者のみ実施。工事施工に起因すると確認された被害のみ補償。

トンネル本体による被害は、言及されない。データは施工事業者である高速道路会社が保存。地下水による地盤沈下は4、5年かかると専門家。地下水の豊富な地域で、成熟した住宅街での被害予測はもっと厳密にすべき。長期的な被害補償が必要。

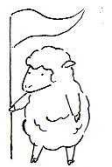
## ◆東京外環道路に異議申立てをしよう

行政不服審査請求法に基づく「異議申立て」は、裁判は大変、でも行政に不満を伝えたい！そういう時に、簡単に行政に訴えられる制度です。個人で窓口に不満をぶつけるだけでなく、みんなで「異議申立て」し、国に思いを訴えませんか？

**大深度地下使用認可への集団「異議申立て」**

**5月20日(火)10:00～ 国土交通省正門前集合**

書式は、外環ネットHPからダウンロードできます。当日参加が難しい方は、外環ネットのメンバーが書類をお預かりして代理で提出することもできます。<http://gaikan.net/>



### ■4/30外環特別委員会視察



東名JCT立坑工事現場、和光市の蓋掛け上部の福祉会館、西東京市の蓋掛け上部の東伏見公園を視察。

### ■5/7 東名JCT立坑工事現場での死傷事故に抗議！

足場にあった鉄筋40本が3メートル下に落下、作業員が下敷きになり、1人が死亡、2人が重傷を負う大きな事故が発生しました。

大深度使用認可がでて、シールドトンネルの入札結果が発表になった直後の死亡事故。徹底した原因調査と再発防止を求めたい。

## ■北海道視察 4/17~19

○財政研究会の女性議員5名で視察。今回は野村が企画。行政や施設等の連絡調整も担当。

### ○釧路市生活自立支援事業



釧路公立大学と共同研究の母子家庭自立支援事業として始め、日常生活自立から、中間就労、そして就労への意欲とスキルを身につける。生活保護受給者が自尊心を持って暮らせるよう支援。受給者率は高い（炭鉱閉山、遠洋漁業縮小）が、保護費は低い。少しでも就労している人が多いため。高齢者はまとめて対応し、支援が必要な稼働年齢層へのコーディネートができるよう人員配置も工夫している。

### ○コミュニティハウス冬月荘

旧北電の社員寮を活用した生活困難者用シェアハウスの1階で、生活保護受給家庭の中学生向け無料学習塾運営。ボランティアによる柔軟な対応の中で子どもたちが育っていく。生活困難者自立支援制度の無料塾のモデル事業。



### ○番外編 釧路湿原展望台

釧路市観光協会が運営。釧路湿原が一望できる。内部は湿原の生態を展示。

## ■福島県双葉郡視察 4/25~26

○福島原発事故震災情報連絡センターの総会・研修をいわき市で開催。スタッフとして参加。

○初日は研修。いわき市職員による除染の現状、福島県職員による県民健康調査について聞いた。特に「甲状腺検査」は、他県での調査と比較し、結果が変わらないと公表している。

○「いわき放射能市民測定室たらちね」の甲状腺検査は、医師の画像を見ながらの解説付で、今後も展開予定。

○「いわきの初期被曝を追及するママの会」は、給食での北海道、米の継続使を求めて署名活動。

### ○浦河べてるの家

精神障がい者の就労支援施設や相談事業、グループホーム等を運営。「当事者研究」を実践しつつ地域での暮らしを支えあう。「金曜ミーティング」に参加。カフェばらばらで昼食後、当事者の早坂潔さんらによるオリエンテーション。その場を目の当たりにする臨場感は違う。

当日夜は早坂さんに誘われてグループホームを訪問。投薬を互いに確認し合うなどの生活の一端も拝見するなど、充実した視察となった。



### ○浦河町保健福祉課

福祉分野では全国的に有名なべてるの家があるため、生活保護受給者の中で精神障がい者の比率は高い。突然浦河に転居してくる人の対応に苦慮。一方、浦河赤十字病院の医師確保と、精神科病床削減問題が最重要課題。高齢者福祉を充実させているが、糖尿病などを併発する認知症の方の対応が困難となると憂慮していた。

### ○番外編 平取町立二風谷アイヌ文化博物館、沙流川歴史館、萱野茂二風谷アイヌ資料館



建物が特徴的な町立博物館。世界の先住民族の資料展示のある萱野茂資料館。たたずまいの違いが如実。

○2日目は、バスで榎葉町～富岡町へ。津波被害の富岡駅は昨年と同じで、時計が止まったまま。除染の爪痕が痛々しい山々。諦めろと国が家などを買い取り補償した方が理にかなうのでは？と思うような光景だった。



野村羊子といっしょにつくる三鷹の会news No.70  
〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3-30-12-104  
Tel&Fax:0422-72-2425  
E-mail: issyonokai@nomura-yoko.net  
Url: http://www.nomura-yoko.net  
Twitter: @hitujinomura

